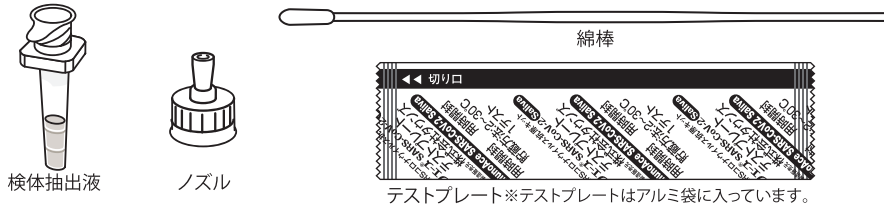


イムノエース® SARS-CoV-2 Saliva 操作方法



上記より使用方法を確認できます。

キットの構成



本品に含まれないが検査実施に必要な器具、器材。

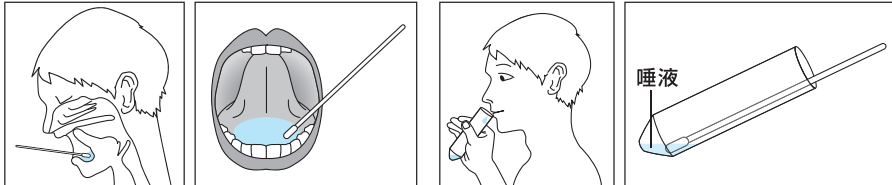
- ・唾液検体採取用の滅菌容器等(容器採取法による唾液採取に必要です。)
- ・時計又はタイマー

小児の手の届かない所に保管してください。

本品は2~30°Cで保存してください。冷蔵保存していた場合は、室内温度に戻してからご使用ください。

下記 1 ~ 4 の手順に従って検査を実施してください。

1 検体採取



口腔採取法

舌先を上あごに押し当て口腔底に唾液を溜めます。溜めた唾液にキット付属の綿棒を10秒以上浸し、その後5回以上回転させながら綿棒全体に浸みわたらせてください。

容器採取法

滅菌容器等に1~2mL程度の唾液を採取します。採取後、キット付属の綿棒を唾液に浸し、回転させながら綿棒全体に浸みわたらせてください。

【注意点】

- ①採取した検体は、できる限り早く添付文書に記載の【用法用量(操作方法)】に従い試料調製し、検査を行ってください。
- ②検体は感染の危険性があるものとして、十分に注意して取扱ってください。
- ③飲食や歯磨き、うがい直後の唾液採取はウイルスの検出に影響を与える可能性があるため、目安として飲食や歯磨きを行った後30分以上の時間を空けてください。
- ④唾液検体に唾液等の粘性成分が多量に含まれると反応に影響を与える可能性があるため、自然に徐々に流出する唾液を滅菌容器等又は口腔底に溜めてください。
- ⑤脱水等により唾液が出にくい被検者より採取した唾液を用いた場合、正確な結果を得られない可能性があります。

2 試料調製

- ① 検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。
- ② 検体採取後の綿棒を検体抽出液に浸し、容器の外側から綿棒の頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。
抽出後、容器の外側から綿棒の頭部をつまみ、試料を絞り出すように綿棒を引き抜き、試料とします。
- ③ 検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。



上記より操作方法を動画で確認できます。

3 試料滴下

- ①アルミ包装を開封しテストプレートを取り出します。
- ②検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴を滴下します*。

注意: テストプレートは開封後すぐに使用してください。

*滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
*試料の滴下量が多すぎた場合には、判定時間内に判定ラインが認められない、または判定ラインが薄くなるため、3滴の試料滴下を守ってください。

3 から 20 分経過後

4 判定

陰性	陽性	陰性	判定部[C]にのみラインが認められた場合。
		陽性	判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合。
			※ラインの濃淡に関わらず目視で確認できれば有効です。 ※20分より前でも判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合には陽性と判定してください。
判定保留	判定保留	判定保留	判定部[C]に黒色のラインが認められない場合は、測定操作上の問題、あるいは試薬の品質上の問題が考えられます。 抗原量が非常に多い場合には、判定部[T]に非常に濃いラインが認められ、判定部[C]にラインが認められないことがあります。